

今回の訪問団員とホストファミリーの皆さん

友好の絆 永久に誓う

米国オレゴン州フッドリバー市姉妹都市締結35周年

両国で記念式典を開催

昭和52年7月にフッドリバー市と姉妹都市締結をしてから35年目を迎えた今年7月、フッドリバー市で姉妹都市締結35周年記念式典が行われ、中野町長を始めとする19人の訪問団が記念式典に出席して、両市町で長きにわたる交流を祝いました。

そして、10月16日（火）、鶴田町国際交流会館において、フッドリバー市より8人の訪問団員を迎え「フッドリバー市姉妹都市締結35周年記念式典」が執り行われました。

午前11時から行われた式典には、主賓、来賓ならびに姉妹都市関係者ら160人が出席。町民歌・姉妹都市の歌の斉唱に続き、中野町長の式辞、フッドリバーの訪問団代表のあいさつ、青森県知事ならびにアメリカ・オレゴン州知事の祝辞、3月にフッドリバー市を訪問した中学生大使の体験発表、7月に行われた35周年記念訪問団の訪問報告、感謝状ならびに名誉町民章の贈呈、記念品の交換が行われました。

式辞で中野町長は「これまで積み重ねてきた交流の歴史は大きな財産です。今後もフッドリバー市との交流がなお一層強い絆で結ばれることを願います」と述べ、フッドリバー市の訪問団を代表してシャリー・ン・ウィルキンズさんは「35年前に、レイ・安井氏と中野町長がこのすばらしい交流事業を始め、現在も途絶えることなくこの交流が続いていま

・写真右／式典の前日、東奥日報社を表敬訪問。フッドリバー市からの記念品が塩越隆雄社長に贈られました

・写真左／県庁を表敬訪問。三村申吾知事と記念品を交換しての記念撮影



- ① フッドリバー姉妹都市委員会を代表してあいさつを述べる姉妹都市委員会前会長のシャーリーン・ウィルキンスさん
- ② 訪問団の入場時は中央保育所の園児たちが鼓笛隊演奏で出迎えました
- ③ フッドリバー市を代表してあいさつを述べるフッドリバー消防署長のデボン・ウェルスさん
- ④ アメリカ・オレゴン州知事のお祝いのことばを伝達するデイビット・ステプユティスさんとアズサ・スズキさん

- ⑤ 祝賀会アトラクションの盆踊りで「ドダレバチ」を披露して拍手を浴びるシャーリーンさん
- ⑥ 訪問先のグループホームアップル鶴の里で入所者の皆さんと
- ⑦ 祝賀会アトラクションで即席の和太鼓を披露するデボンさん
- ⑧ 訪問先のはやせ保育園では園児たちから歓迎の花束が贈られました（写真は花束を受け取るスティーブン・ベッツさん）
- ⑨ 今回の訪問を記念して町に贈られた2枚の写真パネル（右がフッドリバー市より、左が姉妹都市委員会より）

今年で35周年を迎えたフッドリバー市との姉妹都市交流事業は、現在まで延べ1532人もの人たちの交流が行われています。

（5回目・姉妹都市委員会名誉会員）
デイビット・ステプユティス
（初・州知事のメッセンジャー）

アズサ・スズキ
（初・ニコー・ヤスイ会長の従兄弟）

ステイブン・ベッツ
（初・ニコー・ヤスイ会長の叔母）

エレイン・ベッツ
（初・ニコー・ヤスイ会長の叔父）

マーク・ベッツ
（初・フッドリバー市役所職員）

ジェニファー・グレイ
（初・フッドリバー市消防署長）

デボン・ウェルス
（3回目・姉妹都市委員会前会長）

シャーリーン・ウィルキンス
（敬称略）

今回の35周年式典にフッドリバー市から出席されたのは次の方々

式典終了後の祝賀会は、今年7月にフッドリバー市へ訪問した団員による実行委員会（神秀次郎実行委員長）が中心になって行われ、司会やアトラクションなど終始和やかな雰囲気です。

この交流が次世代にわたり平和で永遠に続くことをわたしたちは願っています」とあいさつを述べ、両市町がこれからも友好姉妹都市として絆が固く結ばれていくことを願いました。



- ・記念式祝賀会の実行委員長を務めた神秀次郎氏
- ・写真中／記念樹に付けられた35周年記念のプレート
- ・写真左／富士見湖パークで中野町長と記念植樹をするシャーリーン・ウィルキンスさん